

2020年度第2回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2021年3月8日（月）14:00～15:35
2. 場所：東海大学伊勢原校舎5号館5階会議室
(Webexによるオンライン併用)
3. 出席者
【監査委員】三木委員長*、山口委員、黒石委員、安田委員*、千野委員*
[大塚 達生委員は別の会議の為欠席]
※名前の後ろに*のあるものはweb参加
【病院側】渡辺病院長、大上医療監査部長、
川又医療機器安全管理責任者、横田看護部長、
大澤医療監査部次長、矢部医薬品安全管理責任者、
古屋医療安全専従医師、山野医療監査部付医師、
水元医療安全対策課長、上村医療安全調査課長、
折田医療安全対策課/看護師、平井専従医療安全管理者、
林医療安全専従薬剤師、清水医療安全専従薬剤師
深町医療安全専任技師、
高木・飯塚 医療安全対策課/事務局
4. 配布資料：1) 監査委員会次第 2) 席次表 3) 医療安全管理業務の実施状況
5. 監査概要
 - 1) 出席者紹介
 - 2) 監査委員会の成立
監査委員会規程第5条第3項により、委員の3分の2以上の出席をもって成立した。
 - 3) 監査委員会スケジュールの確認
 - 4) 医療安全管理業務の実施状況について
 - ①医師のE-Learningの受講率の向上、医師のレポート提出率の向上、高難度新規医療技術の申請状況について説明
 - ②インシデント・アクシデントレポート経時的分析、レポート・事例検討と安全対策について報告
 - ③薬剤関連のインシデント・アクシデントレポート、処方箋疑義照会事例からのインシデント報告、新型コロナウイルス感染症専用病棟での医薬品管理、未承認薬・適応外使用薬の使用について報告
 - ④TCIポンプに関する事例報告とその対策について報告
 - ⑤その他医療安全管理業務に係る事項について
6. 監査結果
 - 1) 医療安全・感染防止セミナーをWeb形式での受講及び視聴確認テストは2024年からの働き方改革を踏まえ研修が「時間外」か「勤務内」かの議論になるが、病院の肝となる医療安全に関し、病院がどう考えるか、しっかりと議論の中で内容を充実させていただきたい。また非常勤医師であっても手術や直接患者と関わる職員は受講の対象となるよう検討をお願いする。
 - 2) 貴院の様々な対策により、医師のレポート提出率はグラフからも着実に増加しており、努力されていることは理解できる。また、重要事例に関してもきちんと報告されている。
 - 3) 臨床研修医のレポート提出率の向上はどの病院でも苦労しているところだが、レポート数の多い

臨床研修医を表彰する取り組みは、前向きで良い方法である。今後、更にアクセラとなるような積極的な方法で効果を上げることを期待する。

- 4) 病院情報システムでアレルギー情報を確認する方法について、次回の医療安全管理業務監査委員会の際に現場を確認する。
- 5) 監査委員会発足から4年が経過し、これまでの指摘事項を踏まえて努力している。次回、処方箋疑義照会事例からのインシデント報告について経過を聞かせていただきたい。
- 6) 医師、看護師、薬剤師の医療安全に対する意識が高まっている印象を受けた。メーカー側に現場からの意見を言ってもらい、使いやすい機器に変えていくことが大切だと思う。特に病院に関しては患者の命を預かる場所なので、遠慮なくメーカーへの指導等を行っていただきたい。
- 7) 医療機器は数が増えて高度化が進む中で、複雑な取り扱いになると ME が対応せざるを得ない。可能な限りマンパワーを増やしていく方向で検討をお願いします。

8. 総 評：

年を追って見ると、報告制度が定着していると理解でき、徐々にレベルが高くなっている。内容の問題やその評価及びフィードバックの PDCA サイクルを回すこと。また報告制度が充実してきた分、内容の方にそれぞれの課題を持って取り組むことで、様々な問題点が更に浮き彫りになってくるので、一つ一つに対してしっかり検証して欲しい。

前回まで報告があった画像診断報告書や病理報告書の未読の案件についての継続的な報告を次回の委員会でも確認する。コロナ禍で大変な中、有事であっても医療安全が基本であるため、今後とも医療安全体制の構築に向かって邁進することを期待する。

以 上